

所 属	林政部森林経営課			林政部森林保全課		
係 名	整備係	内線	4383	治山係	内線	4416

～災害に強い循環型の森林づくり～  
**激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（1）一部

1 事業費 4,026,304（前年度 4,246,300）

<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な用途】</b>
国庫 1,637,487	工事請負費 3,390,804
県債 2,147,540	委託料 563,000
繰入金 16,000	補助金 71,500
一般財源 225,277	補償費 1,000

2 背景・事業目的

近年の気候変動により、頻発化・激甚化の傾向にある豪雨災害から、県民の生命・財産を守り林業の振興を図るため、治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災対策を進め、山地防災力の維持・強化と災害に強い森林作業道の整備を推進する。

3 事業概要

(1) 治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災地区による面的防災力の強化（947,200千円）

市町村や林業事業者と連携した事前防災地区を設定し、間伐などの森林整備と、不安定土砂の移動を防ぐダムの設置等の治山対策を総合的に実施する。

(2) 山地災害危険地区における治山施設整備の推進（3,068,404千円）

防災・減災、国土強靱化対策として、災害発生リスクが高い山地災害危険地区において治山施設の整備を推進する。

(3) 地形情報のオープンデータ化等DXによる山地災害対応力の強化（3,200千円）

- 新**・ 災害復旧等に有効活用できる航空レーザ測量データをオープンデータ化する。
- ・ 山間奥地の工事における通信環境向上のため、建設事業者の衛星通信サービス設備導入を支援する。

(4) 災害に強い作業道づくりの推進（7,500千円）

木材搬出等を予定している既設作業道について、安全性や耐久性を向上させるため路盤や排水処理施設の整備等の機能強化を支援する。

[補助対象者：森林作業道の管理者 等]

補助額：県が定める単価以内、補助限度額：1路線 1,000千円 等]

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (4) 林道費 (明細書事業名) ○単独事業 林道開設等事業費 他
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (5) 治山費 (明細書事業名) ○公共事業 治山事業費 他

所 属	林政部森林経営課		
係 名	整備係・木質バイオマス産業係	内線	4383・4389

～災害に強い循環型の森林づくり～

100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり

＜森林整備支援等基金事業＞3（1）一部  
 ＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞3（1）（4）一部

1 事業費 4,265,943（前年度 4,061,285）

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	2,877,798	補助金	4,230,884
繰入金	585,649	委託料	29,904
一般財源	800,699		
その他	1,797		

2 背景・事業目的

100年先の望ましい森林の姿を示す「森林配置計画」に沿った森林づくりを促進するとともに、花粉発生源のスギ人工林を令和15年度までに約2割減少させることを目指して花粉発生源対策に取り組む。

3 事業概要

(1) 人工林における主伐・再造林への支援（708,751千円）

- ・ 森林の若返りや花粉発生源となるスギ人工林の伐採・植替えを推進するため、主伐・再造林に要する経費を助成する。  
 [補助対象者：市町村 等、補助率：4/10 等]
- ・ 低コスト再造林を推進するため、地域で組織された再造林基金団体を対象に、再造林支援等に要する経費を助成する。  
 [補助対象者：再造林基金団体、補助率：1/2 以内]

(2) 花粉の少ないスギ等の種子増産に向けた体制整備（35,059千円）

**3月補正含む**

林木育種事業地の採種園の整備を加速するとともに、母樹用苗木のクローン増殖を実施する。

(3) 再造林にかかる獣害対策への支援（4,531千円）

- ・ ニホンジカ等による苗木の食害等を防ぐための防護柵の設置に加え、新たに維持管理体制の整備等に要する経費を助成する。
- 新**・ 再造林時に設置後不要となった幼齢木保護材について、マイクロプラスチック問題防止のため、撤去・処分に関する経費を助成する。  
 [補助対象者：市町村 等、補助率：1/2 以内]

(4) 環境保全林等における間伐等への支援（3,517,602千円）[一部再掲]

「森林配置計画」の配置区分である木材生産林や環境保全林の目的に沿った間伐等の森林整備に要する経費を助成する。  
 [補助対象者：市町村 等、補助率：4/10 等]

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○公共事業 造林事業費 他
--

所 属	林政部森林活用推進課			林政部森林経営課		
係 名	森林吸収源対策係	内線	4346	スマート林業推進係	内線	4387

～災害に強い循環型の森林づくり～  
**森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援**  
 <森林整備支援等基金事業>

<b>1 事業費</b>	52,936 (前年度 46,298)		46,298
	<b>【財源内訳】</b>		<b>【主な用途】</b>
	繰入金 52,936		委託料 39,100
			補助金 13,376

**2 背景・事業目的**

森林経営管理制度に基づき、市町村が主体となり、林業事業者等と連携して、適切に管理が行われていない森林の整備に取り組んでいる。

このため、「地域森林管理支援センター」の運営や、「岐阜県地域森林監理士」の活用支援等により、市町村による森林経営管理制度の取組みを支援する。

**3 事業概要**

**(1) 「地域森林管理支援センター」の運営 (34,714 千円)**

市町村の林務行政を支援するため、「地域森林管理支援センター」において市町村からの相談対応や専門家への相談斡旋、市町村林務担当職員向けの研修等を実施する。

**(2) 「岐阜県地域森林監理士」の養成 (4,846 千円)**

森林管理・経営に必要な専門的な知識・技術を有する「岐阜県地域森林監理士」を養成・認定する。

**(3) 「岐阜県地域森林監理士」の活用支援 (12,376 千円)**

市町村の林務行政の支援や林業事業者の経営体質を強化するため、「岐阜県地域森林監理士」の活用に必要な経費を助成する。

[補助対象者：市町村 (林務行政の支援)、補助率：23/100 以内  
 林業事業者 (経営体質強化)、補助率：1/2 以内]

**(4) 森林整備の推進に向けた境界明確化への支援 (1,000 千円)**

国庫補助の対象とならない森林において境界明確化を行う林業事業者に対し、作業に必要な経費を助成する。

[補助対象者：市町村、補助率：1/4 以内]

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○100年先の森林づくり事業費 100年の森林づくり計画策定事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 木材生産モデル団地支援事業費

所 属	林政部林政課			林政部森林経営課		
係 名	政策企画係	内線	4313	担い手企画係	内線	4388

## 森林技術者の確保・育成・定着

<森林整備支援等基金事業> 3 (1) 一部、(2)、(3)、(4) 一部、(5)

1 事業費	63,403 (前年度	42,550)
	【財源内訳】	【主な使途】
	国庫 21,950	補助金 36,800
	繰入金 36,953	委託料 17,378
	一般財源 4,500	負担金 4,693
		需用費 2,155

## 2 背景・事業目的

「森のジョブステーションぎふ」が核となり森林技術者の確保・育成・定着に取り組んでいるが、依然として担い手不足の状況は続いている。

このため、新規就業者の確保に取り組むとともに、林業を取り巻く諸課題に対応することができる森林技術者の育成、定着に取り組む。

## 3 事業概要

### (1) 高度な架線技術者・獣害対策技術者の育成 (9,600 千円)

- 急峻な地形でも木材搬出可能な架線技術の OJT 研修を支援する。

**新**・森林文化アカデミーにおいて新たに高度な架線技術・獣害対策等の技術を有する人材を育成する。

### **新** (2) 森林文化アカデミー学生への技能講習等の受講支援 (4,693 千円)

林業就業希望の学生に対し、技能講習実施機関が実施する林業就業に必要な資格取得に要する経費を支援する。

### **新** (3) 森林文化アカデミー校舎改修及び実践的教育の実施 (8,750 千円)

- 校舎の長寿命化のための劣化対策及びカーボンニュートラル社会の実現に向けた温熱・省エネ改修の実設計計を行う。
- 先進的な大型木造改修事例として、調査・計画・設計及び改修後のデータ取得・分析を授業に取り入れ、技術者の養成につなげる。

### (4) 移住者等への林業就業支援 (29,300 千円)

県外から移住し林業に就業した者に対する就業支援金や、森林文化アカデミー学生に向けて、林業への就業準備金を給付する。

[給付額：学生 115 万円、単身 60 万円、世帯 100 万円]

### (5) 岐阜県伐木安全技術評価会の開催 (6,260 千円)

森林技術者や林業を志す学生が安全意識とチェーンソー操作技術の向上を目指す伐木安全技術評価会を開催する。

### **新** (6) 日独林業シンポジウムの開催 (4,800 千円)

森林文化アカデミーとドイツのロッテンブルク林業大学の連携協定締結 10 周年を記念したシンポジウムを開催する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費  
(明細書事業名) ○森林文化アカデミー費 森林文化アカデミー運営費 他

所 属	林政部県産材流通課			林政部森林経営課		
係 名	資源活用係・加工流通係・消費対策係・販路拡大係	内線	4365	整備係・木質バイオマス産業係	内線	4389

## 都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（6）一部  
 ＜森林整備支援等基金事業＞ 3（6）一部

1 事業費 3,404,400（前年度 3,543,790）

【財源内訳】

【主な用途】

国庫 2,510,958

補助金 3,381,198

一般財源 870,237

委託料 17,876

繰入金 23,205

## 2 背景・事業目的

県民や事業者の県産材利用への理解を深めるため、令和5年に施行した「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、建築物等への県産材利用の促進、輸出の促進や県民及び事業者の県産材利用への理解の醸成などを図り、県産材の需要拡大を推進する。

## 3 事業概要

### （1）県産材を活用した住宅への支援（80,640千円）

木造住宅の新築又は改修において、県産材を一定量以上使用した建築主や県産材住宅の建設拡大を図る産直住宅建設団体を支援する。また、県産材を使ったりノバージョンへの支援策を検討する。

### （2）協定に基づく非住宅建築物の木造化等への支援（317,358千円）

県と協定を締結した事業者が行う非住宅建築物の木造化、内装木質化、木製品導入等の県産材利用に要する経費の一部を助成する。

### 新（3）中大規模木造建築の技術開発に係る基本構想策定（1,000千円）

中大規模建築物の木造化・木質化の推進に必要な技術支援及び試験研究体制の再構築に向けて、外部有識者等で構成する検討委員会を設置し、基本構想を策定する。

### （4）首都圏、関西圏への販路拡大（7,602千円）

東京・大阪で開催される住宅資材等の展示会に出展するとともに、首都圏・関西圏に県産材製品の斡旋等を行う相談窓口を設置する。

### （5）欧州等への高付加価値木製品の輸出促進（12,500千円）

木製家具など高付加価値製品の欧州等での販路開拓に向け、見本市への出展、輸入規制に関する勉強会の開催、デザイン指導など製品ブラッシュアップへの支援などを実施する。

### （6）地産地消型の木質バイオマス燃料の利用促進（2,985,300千円）

〔一部再掲〕

木質バイオマスの熱利用を進めるため、アドバイザーの派遣や施設の導入等を支援する。また、森林整備事業等による間伐材などの搬出を通じて、燃料材の供給を支援する。

（款）6 農林水産業費（項）5 林業費（目）(3) 県産材流通対策費  
 （明細書事業名）○木材利用推進対策費 木の香る環境づくりぎふ推進費 他

所属	林政部県産材流通課			林政部森林経営課		
係名	加工流通係・販路拡大係	内線	4365・4366	整備係・スマート林業推進係	内線	4383・4387

～DXの推進による林業・木材産業改革～  
**需要に合わせ柔軟かつ迅速に対応する  
 木材サプライチェーンの構築**

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（2）一部

1 事業費 34,272（前年度 31,241）

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	14,761	補助金	29,755
繰入金	1,000	委託料	700
一般財源	18,508	報償費	676
その他	3		

2 背景・事業目的

ウッドショックのような急激な需給変動や、輸入材から国産材への転換に対応するため、県産材の安定供給が求められている。

このため、木材生産から加工・流通過程のデジタル化を進め、需給調整を行う体制を確立するとともに、品質の確かな製材品等の増産を支援し、需要の変化に迅速に対応できるサプライチェーンの構築を促進する。

3 事業概要

(1) 広葉樹の新たなサプライチェーンの構築 (2,255 千円)

**新**・ ナラ枯れ被害のまん延を防止するとともに、未被害木の有効活用のため、ナラ類の伐採等に要する経費の一部を助成する。

[補助対象者：市町村、補助率：1/2 以内]

・ 地域の広葉樹を家具や内装材に利用するため、生産・加工・流通・販売等のサプライチェーン構築に取り組む団体を支援する。

[補助対象者：加工・流通事業者等で構成する団体等、補助率：1/2 以内]

(2) ICT等を導入する事業者への支援 (11,317 千円)

ICT等の新技術の活用により、適正な森林管理、効率的な林業生産、作業安全性の向上促進等に取り組む林業事業者を支援する。

また、業務改善を促進する専門家の派遣等を実施する。

(3) 住宅建築情報や木材需給情報を共有するシステム構築への支援

(8,000 千円)

県産材住宅の建設促進に向けて生産・流通・販売の連携を強化し、需給調整や販路拡大に取り組む団体を支援する。また、木材の生産・流通効率化に向けたデジタル化に要する経費の一部を助成する。

(4) 中小製材工場の新製品開発等に係る支援 (12,700 千円)

中小の製材事業者の強みを生かした新製品の開発・普及のための検討会を新たに開催するとともに、製材工場などの労働環境改善に向けた施設整備等に要する経費の一部を助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材利用推進対策費 県産材利活用推進費 他
--

所 属	林政部森林経営課		
係 名	林道係・スマート林業推進係・木質バイオマス産業係	内線	4387・4389

～DXの推進による林業・木材産業改革～  
**木材の安定供給と森林所有者への利益還元**

＜森林整備支援等基金事業＞ 3 (2)

1 事業費	1,589,826 (前年度 1,922,630)
	【財源内訳】
	国庫 771,384
	県債 457,600
	負担金 4,703
	繰入金 9,870
	一般財源 346,269
	【主な用途】
	工事請負費 636,887
	補助金 782,463
	委託料 169,430

**2 背景・事業目的**

需給変動に柔軟かつ迅速に対応した原木の効率的・安定的な供給と森林所有者への利益還元を図るため、燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」を支援するほか、スマート林業の普及、森林経営計画の策定促進及び林道等の整備により木材生産性向上を図る。

**3 事業概要**

**新 (1) 燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進 (19,826千円)**

エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費の一部を助成するとともに、エネルギーの森の整備に取り組む事業者に対し、燃料材の搬出経費等の一部を助成する。

[補助対象者：木質バイオマス供給事業者等、補助率：定額]

**新 (2) 森林経営計画策定促進に向けた森林クラウドシステムの機能拡充 (9,870千円)**

森林の境界明確化や森林経営計画の策定促進に資する情報を共有できる機能を「森林クラウドシステム(※)」に追加する。

※ 森林クラウドシステム…森林情報を市町村や林業事業者等の関係者間で効率的に共有するため、クラウド上で一元管理し、ネットワークを経由して利用するシステム。

**(3) スマート林業普及のための林業イノベーションポータルサイト整備**  
 林業DXに資する情報を一元的に参照することができるポータルサイトを構築する。

**(4) 林道等路網整備の推進 (1,560,130千円)**

市町村が行う林道の整備に要する経費を助成するとともに、基幹的な林道及び林業専用道を県が代行して整備する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 県産材利用総合対策事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 木材生産モデル団地支援事業費

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	森林サービス産業支援係	内線	4345

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～  
**新たな雇用と収入を生み出す森林サービス産業の育成**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（3）一部

1 事業費	20,885（前年度 30,731）	
	【財源内訳】	【主な用途】
	国庫 9,153	補助金 10,000
	繰入金 2,578	負担金 5,326
	一般財源 9,154	

2 背景・事業目的

社会のデジタル化が進むなか、森林がもたらす癒しの享受や五感で自然を体験することへのニーズが高まっている。

一方、山村地域では産業の停滞や若者の流出が課題となっていることから、山村地域に新たな雇用と収入機会、関係人口を生み出す森林サービス産業の育成を推進する。

3 事業概要

(1) 専門家派遣等による事業者への伴走型支援（11,540 千円）

新たに森林サービス産業を実施する事業者に対し、プランナー派遣等の伴走型支援や、事業に要する初期費用の支援を実施する。

[補助対象者：民間事業者、補助率：1/2 以内（限度額：2,500 千円）]

**新** (2) インバウンド受入れ事業者への支援（960 千円）

外国人を対象とした森林浴ツアー等の企画立案や体験希望者の受入れなど、インバウンドに対応した事業者の先進事例を学ぶセミナーを開催する。

(3) 森林サービス産業全国交流会の開催（3,059 千円）

**新**・ 全国の先進事例を学び、実践者と交流を図る「森林サービス産業全国交流会」を開催する。

・ 森林空間の活用に必要な知識を習得するため、研修会等を開催する。

(4) 「ぎふ森フェス」の開催等による森林サービス産業の普及啓発と育成（5,326 千円）

県内各地の森林体験プログラムを掘り起こし、磨き上げるため、「ぎふ森のある暮らし推進協議会」が主催する「ぎふ森フェス」や会員同士の交流会の開催を支援する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費
---

所 属	林政部森林活用推進課					
係 名	森林吸収源対策係・緑化推進係				内線	4346・4348
所 属	林政部森林経営課			林政部森林保全課		
係 名	木質バイオマス産業係	内線	4389	水源林保全係	内線	4416

## カーボンニュートラルの実現に向けた取組み

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（1）一部

1 事業費 63,047（前年度 77,418）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫	15,000	委託料	35,781
財産収入	8,360	補助金	19,780
繰入金	33,260		
一般財源	6,427		

## 2 背景・事業目的

健全で豊かな森林づくりと「脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、二酸化炭素吸収源としての森林の活用を推進する。

また、木質バイオマスのエネルギー利用を進めるため、燃料材林（エネルギーの森）の整備に取り組む。

## 3 事業概要

### （1）「G-クレジット制度」の推進（34,260千円）

G-クレジットの取引活性化に向け、クレジットの創出拡大及び活用方法の拡充による魅力向上を図る。

### （2）県営林J-クレジットの取得・販売の推進（8,360千円）

・ 県営林において、J-クレジット制度に基づき認証されたクレジットを販売するとともに、新たなクレジットの取得を進める。

**新**・ 県営林の適正な管理やJ-クレジットの効率的な取得のため、県営林の資源情報をデジタル化する。

### （3）企業との協働による森林づくりの推進（601千円）

市町村と連携し、企業等による植栽など森林づくり活動を支援する。また、「岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例」に基づき、企業等の森林づくり活動による二酸化炭素吸収量を認定する。

### **新**（4）燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進（19,826千円）**[再掲]**

エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費の一部を助成するとともに、エネルギーの森の整備に取り組む事業者に対し、燃料材の搬出経費等の一部を助成する。

[補助対象者：木質バイオマス供給事業者等、補助率：定額]

（款）6農林水産業費（項）5林業費（目）(2)林業振興費

（明細書事業名）○100年先の森林づくり事業費 100年の森林づくり計画策定事業費 他

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	木育推進係	内線	4346

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～  
**「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向けた  
「ぎふ木育」の推進**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3 (1) 一部、(2) 一部、  
(3) 一部

＜森林整備支援等基金事業＞ 3 (2) 一部、(3) 一部

1 事業費	110,502 (前年度	102,516)
	【財源内訳】	【主な使途】
	繰入金 110,502	委託料 89,126 需用費 6,304

## 2 背景・事業目的

森林・林業に対する県民の意識を醸成するため、「ぎふ木遊館」と「森林総合教育センター(morinos)」を核として、森や木に親しみ、森とのつながりや森林文化の豊かさを段階的、継続的に学ぶ機会を提供する。

## 3 事業概要

### (1) 「ぎふ木遊館サテライト施設」等を活用した「ぎふ木育」の全県展開 (9,287千円)

- ・ 新たな「ぎふ木遊館サテライト施設」(郡上市・揖斐川町)の整備を支援する。
- ・ 既存のサテライト施設に対し、木育プログラムを行う指導者の派遣やスタッフ育成のための研修を実施する。
- ・ 地域で活動する木育・森林環境教育の指導者が情報交換を行う交流会等の開催や、民間事業者のノウハウを活用した地域版木育・森林環境教育プログラムの開発等を支援する。

### (2) 「ぎふ木育コーディネーター」等の新たな資格制度の導入 (15,038千円)

- 新**・ 「ぎふ木育」を実施したい教育施設等に対し、地域の指導者の派遣を調整する「ぎふ木育コーディネーター」を新たに委嘱する。
- ・ 森林空間を活用した「ぎふ木育」を提供できる人材を育成するため、新たな「ぎふ木育指導員養成講座」を実施する。

### (3) ぎふ木遊館、森林総合教育センター(morinos)による出前プログラム等の実施 (86,177千円)

「ぎふ木遊館」における木のおもちゃでの遊び等の木育体験や、「morinos」における森林環境教育体験のほか、県内各地へ出向いて実施する「移動型ぎふ木遊館」、「森の出番プロジェクト」など、魅力的で多様なプログラムをあらゆる世代を対象に実施する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費
---

所 属	林政部林政課			林政部県産材流通課		
係 名	政策企画係	内線	4313	資源活用係	内線	4362

## きのこなどの特用林産物の振興

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（1）一部

1 事業費	14,910（前年度 13,216）
	【財源内訳】
	国庫 9,839
	繰入金 1,000
	一般財源 4,071
	【主な使途】
	補助金 13,469
	委託料 1,000

## 2 背景・事業目的

原木などのきのこ生産資材の不足や価格高騰により、原木やおが菌等の生産資材の需給バランスが崩れつつあるため、県内産原木の安定供給を促進するとともに、生産資材の調達を支援する。

また、薪ストーブ等の普及により薪の需要が増加しているため、薪生産量の拡大を促進する。

## 3 事業概要

### （1）原木しいたけ生産への支援（5,080千円）

**新**・ しいたけの原木生産者等による広葉樹の伐採、搬出路開設及び運搬に要する費用を支援する。

〔補助対象者：県内のしいたけ用原木生産者等、補助率：定額〕

・ 原木しいたけに使用する広葉樹の伐採は人力による作業が多いため、安全に伐採する技術や搬出に関する現地研修会を実施する。

**新**・ 低質な原木でも一定のしいたけ発生量を確保するため、通常より多く使用する種菌購入に要する経費を助成する。

〔補助対象者：原木しいたけ生産者団体、補助率：定額〕

### （2）きのこ類の生産資材高騰に対する支援（8,209千円） **3月補正**

きのこ生産者が購入する生産資材の高騰分に対し助成する。

〔補助対象者：生産資材を購入するきのこ生産者、補助率：定額〕

### （3）高級菌根性きのこ（黒トリュフ）栽培に関する技術開発（441千円）

令和6年も継続発生を確認した黒トリュフについて、短期間かつ安定的に発生させる技術の開発を実施する。

### （4）薪生産者による設備導入への支援（1,180千円）

小規模な薪生産者等が行う、薪の材料となる原木の大径化にも対応した施設整備に要する経費の一部を助成する。

〔補助対象者：薪生産者、補助率：1/2以内（限度額：1,000千円）〕

（款）6農林水産業費（項）5林業費（目）(3)県産材流通対策費

（明細書事業名）○特用林産振興推進費 特用林産需給安定対策推進費

（款）6農林水産業費（項）5林業費（目）(8)森林研究費

（明細書事業名）○森林研究所費 県単試験調査費

所 属	林政部森林活用推進課	環境生活部環境生活政策課
係 名	森林活用係 内線 4343	管理調整係 内線 2914

## 「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した自然環境の保全・再生 <清流の国ぎふ森林・環境基金事業>

1 事業費	1,464,075 (前年度 1,220,389)
【財源内訳】	【主な使途】
繰入金 1,464,075	補助金 1,182,999
	委託料 156,453
	工事請負費 30,000

### 2 背景・事業目的

管理不足の森林の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などにより、森林や河川の持つ公益的機能の低下が懸念されている。

このため、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、人づくりや仕組みづくりを行い、地域のニーズに沿って、自然環境の保全・再生や「脱炭素社会ぎふ」に向けた取組みを行う。

### 3 事業概要

#### (1) 森林部門 (1,097,359 千円)

奥地水源林の間伐、危険な樹木の除去、被害森林等での早生樹の植栽等の森林整備を支援する。また、啓発効果の高い公共施設等の木造化・内装木質化を支援するとともに、森や木、川に関する環境教育や「ぎふ木育」に取り組む。

#### (2) 環境部門 (333,216 千円)

鳥獣被害対策として、ニホンジカやカワウ等の捕獲を支援するとともに、岐阜大学と共同で被害対策を推進する。また、自然生態系の保全のための河川清掃や魚道の改修等を行うほか、環境問題について体験・交流することにより行動変容につなげる環境学習プログラム等を実施する。

#### (3) 共通部門 (33,500 千円)

地域団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫を凝らした森づくりや川づくり活動の取組みを支援する。また、外部有識者等で構成する第三者機関の設置等により、基金事業の透明性を確保する。

(款) 6 農林水産費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○単独事業 造林事業費 他
---